



豊後高田の新キャラクター「しろねちゃん」

【豊後高田】西日本一の生産量を誇る豊後高田市の白ネギをPRしようと、新キャラクター「しろねちゃん」が誕生した。市や生産者はイベントなどで活用する。

キャラクターは大分市の大塚智水さんがデザインした。地元活性化に役立てようと市が募った作品から、「特産白ネギのPRにびっ

たり」と豊後高田商工会議所が選んだ。白ネギの妖精で、曲がったことが嫌いな性格でピリッと辛い一面がある設定という。

名前は同会議所が全国に募り、903件の応募があった。生産者らで選考し、県内外の10人から提案があった「しろねちゃん」に決まった。

市内新町の同会議所で8

日、キャラクター発表会があり、名前の考案者のうち県内に住む5人が参加。野田洋二会頭が一人一人に感謝状を渡し、白ネギ3kgを贈った。

考案者の一人、後藤大雅さん(12)は「大分市南大分中1年」は「名前はパツと浮かんだ。多くの人に親しまれるキャラクターになってほしい」と期待。



白ネギのPRキャラクター「しろねちゃん」

曲がったことが嫌い
ピリッと辛い一面も
白ネギの妖精 よろしく



しろねちゃんの名前考案者と生産者ら＝豊後高田商工会議所

生産者の和泉陣さんと大森章司さんは「西日本一の生産地だが、地元での知名度はまだ低い。しろねちゃんと一緒に先頭に立ち、白ネギのおいしさをPRしていきたい」と話した。

県内在住の他の考案者は次の通り。

内藤優歌(豊後高田市桂陽小2年)、桑原青也(同市真玉小4年)、酒井夢花(同)、為成裕二(一般)

(小田原大周)



〔問①〕 「しろねちゃん」は、どこの何をPRするためのキャラクターですか。

〔問②〕 キャラクターの名前を応募した際、「しろねちゃん」と提案したのは何人ですか。

〔問③〕 この記事を読んでみて、あなただったらこのキャラクターにどんな名前をつけますか。考えてみましょう。
